

要配慮者利用施設の 訓練の手引き

東京都台東区版

PDFでなく、パワーポイントの資料が必要な場合は、メールでご連絡ください。

国の資料をベースに、台東区向けに加工した 避難訓練の手引となります。 避難訓練の参考としてご活用ください。

基本訓練である、避難確保計画確認訓練、気象情報収集・報告・判断訓練については原則、毎年、いずれかの訓練は実施するように検討してください。後者の訓練については、気象庁ホームページの「キキクル」、台東区の防災関係のホームページを確認するのみでも、訓練とみなします。

選択編のメニューは、他の規定に基づき既に同様の情報伝達訓練や避難訓練を実施している場合は、当該訓練の実施をもって代えることができます。

大切なことは災害対策に共通することですが、職員皆さんの防災意識を高めること、またできることは事前に準備しておくことです。

作成した避難確保計画に基づく避難訓練を年1回以上実施してください。できる限り梅雨・台風シーズン前が望ましいです。実施後は年度ごとに結果を報告していただきます。
(訓練報告の様式は添付ファイルのものでなくても構いません)

- ◆平成29年の水防法改正において、浸水想定区域内や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設(市町村地域防災計画に定められた施設)の管理者等は、「避難確保計画の作成」と「避難訓練の実施」が義務化されています。
- ◆本チェックリストは、「水害を想定した避難訓練」を効果的に実施するために、自治体から施設への資料提供により避難訓練の促進を図ることを目的としております。

避難訓練チェックリストは、基本訓練と選択編から構成されています。

□基本訓練:

避難確保計画を職員全体で確認する訓練

台風発生以降の情報収集から避難開始の判断までを行う訓練

□【選択編】:避難に関する様々な段階の防災行動の訓練

- ・基本訓練は、避難確保計画の全体像を把握し、目的を理解する訓練、または施設において大切・必要な判断(避難開始)の訓練として、刻一刻と変化する気象情報等を確認しながら、「施設にとって適切なタイミング」を考えるための訓練となっています。
- ・【選択編】は、避難の各段階で必要と考えられる様々な防災行動について、例示等も参考に、いざという時の行動を確認するチェックリストとなっています。各施設にとって大切と考えられる項目を選択して取り組めるようにしております。

- 目標を定めて(目的を意識して)自分達なりに訓練すること
- 災害が起きそうなときの状況をイメージしてみること
- できることから始めること

- ◆ チェックリストは、水害時に一般的に想定される状況や必要と考えられる訓練項目についてまとめたものですが、各施設の状況(入所者や職員の状況など)に応じて、自分達なりに訓練することが大切です。
- ◆ いざというときに冷静な判断が出来る人は多くありません。災害時に発生しそうなことを【イメージすること】を意識しながら実施することが重要です。
- ◆ 災害時に必要な対応に、「万能な正解」はありません。また、災害は想定どおりには発生してくれません。「できること」と「できないこと」も、実際に確認してみるのが大切です。災害時に必要な対応に、「万能な正解」はありません。また、災害は想定どおりには発生してくれません。「できること」と「できないこと」も、実際に確認してみるのが大切です。

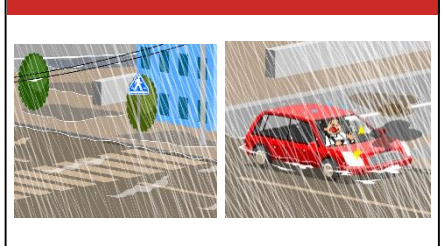
1. 段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動』をイメージしてみましょう。
2. 避難訓練の内容を知る
3. 「基本訓練」を実施する
4. 「選択編」の訓練を実施する
5. 避難訓練計画を作成する
6. 避難訓練実施報告書を提出する

段階的に発表される防災情報と『要配慮者利用施設の主な行動(例)』

警戒レベル
3
雨の様子
防災気象情報
川の様子
避難情報等
施設の行動

3

重大な災害の起こるおそれ



氾濫警戒情報 洪水警報



避難準備・ 高齢者等避難開始



【防災情報入手】

指定河川洪水予報

クリック

地方	発表状況	発表時刻
北海道	発表なし	
東北	発表なし	
関東甲信	発表なし	
中部	発表なし	
東海	発表なし	
近畿	発表なし	
中国	発表なし	
四国	発表なし	
九州北部	発表なし	
九州南部	発表なし	
沖縄	適用していません	

表の赤色：**氾濫警戒情報**

避難準備・高齢者等避難開始

市町村からの
・防災情報メール
・電話、fax など

【施設の防災イメージ(例)】

- ◆ 施設責任者への報告 (氾濫の危険性)
- ◆ 避難判断・避難指示
- ◆ 従業員への説明
- ◆ 館内放送 (避難開始)

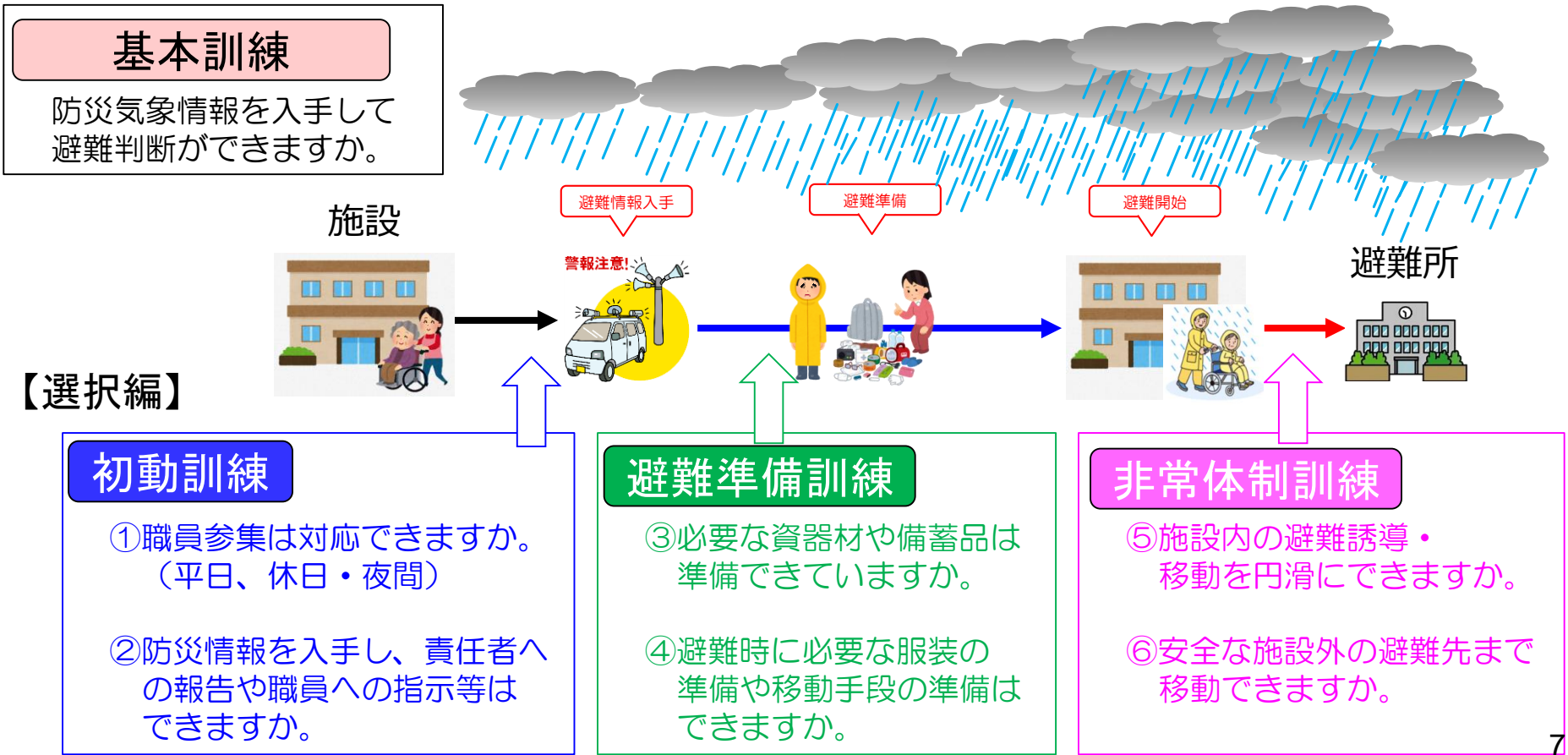
避難開始

- ◆ 立退き避難 (水平避難)

- ◆ 屋内安全確保 (垂直避難)

避難訓練の内容

- ◆避難訓練は、気象情報を確認し、避難判断を行うための「基本訓練」に加え、【選択編】として、体制を整える「初動訓練」と避難するための「避難準備訓練」、避難行動を行うための「非常体制訓練」があります。
- ◆「基本訓練」は、避難判断のための重要な訓練ですので、実施してください。
- ◆選択訓練は、施設状況に応じて、できる訓練から実施してください。



【選択編】

基本訓練

- 避難確保計画内容確認訓練



- 気象情報収集・報告・判断訓練



初動訓練

- 管理者等への状況報告訓練



- 職員参集訓練



避難準備訓練

- 避難に必要な備品等の確認訓練

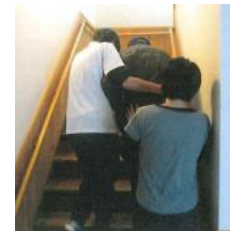


非常体制訓練

- 避難先への移動訓練（立退き避難訓練）



- 施設内の屋内安全確保（垂直避難訓練）



避難訓練チェックリストの使い方

◆ 訓練目標の設定が重要です！

- 避難は想定しているより時間がかかります。
- 訓練目標を決め、訓練結果を振り返り、避難計画を見直しましょう。
- 災害は想定どおりには発生しません。様々な状況をイメージすることが必要です。
- 避難訓練では、訓練時間を計測し、訓練後の見直しや工夫が重要です。

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタン(NHK)を確認する。 ・気象庁のホームページを確認する。 ・気象台のホームページを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・市町村ホームページを確認する。 ・ラジオから情報確認する。 	<p>(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する</p> <div data-bbox="1120 628 1516 756" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>記載例やヒント集を参考に施設状況に応じた「訓練目標」を設定し、記入してください。</p> </div>		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川の防災情報」を確認する。 ・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。 ・防災情報メールを確認する。 	<p>(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する</p>		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。 	<p>(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える</p>		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。 	<p>(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する</p>		
□	<div data-bbox="415 1349 1062 1413" style="border: 2px solid yellow; padding: 5px;"> <p>施設独自の訓練項目があれば行を追加してください。</p> </div>			

訓練後に結果(目標達成状況)を記入してください。

訓練の担当者を記入する

避難訓練実施後に振り返りポイント

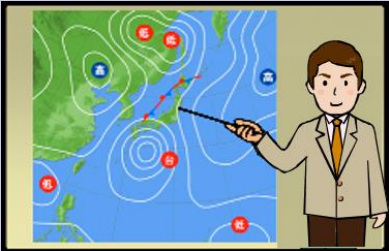


1. 設定した「訓練目標」は達成出来ましたか？
2. 訓練でよかったことや得られたことは何でしたか？
3. 避難にかかった時間は、事前の見込みのとおりでしたか？
(見直しをする必要はありませんか)
4. 改善が必要な施設の体制はありませんでしたか？
5. 避難確保計画で見直しや追加が必要な項目は何でしたか？
6. 本当に災害が発生しそうになったときに、施設利用者や職員は、助かることができそうでしょうか？

⇒訓練参加者全員で振り返りを実施しましょう！




【基本訓練】: 防災体制の確認(1)【避難確保計画確認訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 避難確保計画の保管・保存場所を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン上でどこに保存されているか。 ・計画がプリントされているか。 	<p>(例) 計画の存在を職員に周知できているかをまず確認しましょう。</p>		
□	<p>訓練②: 避難確保計画の読み合わせ等を行い、内容を 確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の目的・趣旨を共有する。 ・対象となる氾濫を確認する。 ・計画内での役割分担、休業基準などを確認する。 	<p>(例) 基本的な知識・対応の確認をしましょう。 また施設での避難の必要性の有無について共有しましょう。</p>		
□	<p>訓練③: PC, スマホ等でハザードマップや台東防災アプリ で施設の浸水状況や気象庁からの気象情報(キキクル)等を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災アプリの内容、使い方を確認する。 ・気象情報を画面で確認する。 	<p>(例) 具体的な操作方法の習得に努めましょう。 また情報収集のソースを共有しましょう。</p>		
□	<p>訓練④: 確認避難確保計画全体の課題等を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業基準など、施設でのルール等に課題・懸案がないか、確認する。 ・選択訓練の実施等について検討する。 	<p>(例) 課題の有無、改善方法などを議論して、より実践的な計画にしていけることを図ります。</p>		

【基本訓練】: 防災体制の確認(2)【気象情報収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>■ 訓練開始</p> <p>訓練①: 気象情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビのdボタン(NHK)を確認する。 ・気象庁のホームページを確認する。 ・気象台のホームページを確認する。 ・防災情報メールを確認する。 ・市町村ホームページを確認する。 ・ラジオから情報確認する。 	(例) 様式3で整理した気象情報について、操作に迷わず円滑に確認する		
□	<p>訓練②: 河川水位情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川の防災情報」を確認する。 ・河川事務所の水位情報やライブカメラの情報を確認する。 ・防災情報メールを確認する。 	(例) 様式3で整理した洪水予報・河川水位について、操作に迷わずに確認する		
□	<p>訓練③: 責任者に台風や河川水位の情報を報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風の影響予測を報告する。 ・現状の水位情報を報告する。 	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練④: 責任者が「心のスイッチを入れる」判断と必要な指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の状況、今後の予測情報を踏まえ、施設内の防災体制に移行するための決断を行う。 	(例) 職員は様式12に沿った役割を確認する		
□				

【基本訓練】：防災体制の確認(2)【気象情報の収集・報告・判断訓練】

実施の有無	訓練項目	訓練目標 記載例を参考に、各施設で設定して下さい	担当者	結果
□	<p>訓練⑤：避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報を確認し、責任者に報告する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村ホームページから避難情報を確認する。 ・河川の水位情報を確認し、避難判断水位に達していないか、到達するおそれがないか確認(予測)する。  <p>避難情報が発令されました</p>	(例) 情報収集伝達要員は設定した防災情報を確認後、速やかに責任者に伝える		
□	<p>訓練⑥：責任者が避難開始を判断し、指示を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気象情報、河川水位情報に応じた対応(様式2)の指示を行う ⇒どのような気象情報、水位情報のときに、どのような対応をすべきか判断・指示することが大事です。  <p>避難を開始しますので、車の手配をお願いします。</p>	(例) 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、職員に避難開始を指示する		
□	<p>訓練⑦：施設利用者への説明を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を行うことについて、利用者の状況に応じて、適切な説明を行う。 ⇒移動することを別な表現(散歩など)で説明することも工夫の一つです)  <p>避難場所まで避難します</p>	(例) 訓練を行うことの説明をわかりやすく説明する		
□				

【訓練時における課題や気づき】

【ヒント集】

- ・インターネットでの情報収集で、ブックマークの登録やデスクトップ上にアイコンを追加するなどにより、簡単にアクセスできるようにしている。
- ・常に天気やニュース(特に台風時)をチェックするようにしている。
- ・大雨が予想される場合は気象情報を近隣施設と伝え合うようにしている。
- ・「川の防災情報」のライブカメラ映像を活用している。
- ・天気予報確認後、園児の登園を園長が決定し、事前に保護者にメール配信している。
- ・停電でテレビや携帯等が使用できない可能性を踏まえて、ラジオやトランシーバー等を準備している。